

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	16				
部 局 名	政策調整部	所 属 名	人権・男女共同参画課	所 属 長	森寄 隆之
事務事業名	00645 男女共同参画推進事業	記 入 者	北田 敦士		

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	男女共同参画社会基本法 大津市男女共同参画推進条例 女性活躍推進法
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします	関連する個別計画	第3次大津市男女共同参画推進計画（おおつかがやきプランⅢ）
	施策	03	女性が活躍する社会の実現		
	視点	01	男女共同参画社会づくり		
重事	01	男女共同参画の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	男女共同参画推進事業費	

事業の概要  
男女共同参画社会基本法と大津市男女共同参画推進条例を指針とし、誰もが多様な個性を認め、尊重し合い、自分らしく力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、第3次大津市男女共同参画推進計画（おおつかがやきプランⅢ）に基づく事業を着実に推進する。また、市民団体等との協働で啓発に資する市民フォーラム等の事業に取り組む。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	男女共同参画社会基本法第2条に規定する男女共同参画社会を実現するため
対象 (何又は誰を)	市民、事業者、男女共同参画推進団体連絡協議会等の関係団体、市職員等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	大津市男女共同参画推進計画に掲げる取組、男女共同参画をすすめる市民フォーラムの開催に取り組むことで
成果 (どのような状態にするのか)	全ての人々が多様な個性を認め、尊重し合い、自分らしく最大限に力を発揮できるまち「おおつ」を実現する。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		9,332	7,237	2,255	7,699	6,173	
人件費 B		20,886	21,130	19,259	17,535	16,992	
事業費合計 A+B		30,218	28,367	21,514	25,234	23,165	
事業費の内訳	国	4,111	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	26,107	28,367	21,514	25,234	23,165	
職員数(人)		2.70	2.70	2.43	2.37	2.36	
職員数の内訳	正規	2.50	2.50	2.30	2.00	1.90	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.20	0.20	0.13	0.37	0.46	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	市民フォーラム参加者数	人	目標	450	450	450	450	450
				実績	243	265	189	-	-
生涯学習センターホール定員500名の9割を指標とする。									
活動指標	2	男女共同参画推進重点事業「Otsuプロジェクト-W」実施率	%	目標	100	100	100	0	0
				実績	100	100	100	-	-
男女共同参画推進重点事業「Otsuプロジェクト-W」で計画した事業の実施率（実施事業数/計画事業数×100）									
成果指標	1	審議会等への女性委員の登用率	%	目標	40	40	40	40	40
				実績	32.5	36.6	36.4	-	-
審議会等委員のうち、女性委員の割合									
成果指標	2	次世代育成支援対策推進法に基づくくるみ認定企業数(累計)	社	目標	27	32	32	32	32
				実績	11	11	14	-	-
次世代育成支援対策推進法に基づいてくるみの認定を受けた市内企業数の累計									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	平成31年4月には、働き方関連法が施行され、男女における仕事と家庭の調和の改善が求められている。しかし、依然として、固定的性別役割分担意識が根強く残っており、解消には至っていない。	
これまでの見直しや改善等の経過	効率的かつ効果的な取り組みの検討と、令和3年度に策定を予定する次期男女共同参画推進計画の調査資料とするため、市内事業所を対象としたアンケート調査を実施し、具体的な取り組みを検討した。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	法によって、地方公共団体が、男女共同参画社会形成に向けた施策を策定し、実施する責務があるとされており、本市が主体となって、男女共同参画推進計画や女性活躍推進計画に基づいた事業を実施することは妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	成果指標において、附属機関等の女性委員の登用率は、横ばいであったが、次世代育成支援対策推進法に基づくるみん認定企業数が、やや上がっている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、イベントの定員を削減したり、企業訪問を控えるなど、活動を制限せざるを得なかったが、男女共同参画市民フォーラムを会場での視聴だけでなく、動画配信でも可能とするなど、新しい手法にも取り組んだ。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	これまで、第三次天津市男女共同推進計画に基づく取組を計画的に実施してきたことに加え、市民フォーラムの講演を動画配信したり、これまで実施していなかった男性の料理教室を実施するなど、様々な手段・角度から男女共同参画を啓発することができた。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	ワーク・ライフ・バランスの実現や女性活躍に関する取組を経済団体に積極的に働きかけるとともに、県や関係機関との連携を図ることで職場や地域の男女共同参画社会の実現を進めるとともに、オンライン配信によるイベントの実施など、工夫をしながら効率的・効果的な事業実施に努める。
部局長コメント	多様化する生き方・働き方に対応し、誰もが自分らしい生活を送ることができる男女共同参画社会の形成を促進するため、関係課や関係機関との連携を図るとともに、あらゆる手段を検討するなど丁寧な事業実施に努め、着実な男女共同参画事業の推進に取り組んでいく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	81.25 %	91.50 %	91.00 %
	指標2	40.74 %	34.37 %	43.75 %
成果増減率	指標1	- %	+12.61 %	-0.54 %
	指標2	- %	±0.00 %	+27.27 %
活動単位コスト	指標1	124 千円	107 千円	113 千円
	指標2	302 千円	283 千円	215 千円
成果単位コスト	指標1	929 千円	775 千円	591 千円
	指標2	2,747 千円	2,578 千円	1,536 千円
コスト増減率		- %	-11.38 %	-32.07 %

# 令和 3年度 事務事業評価シート

[令和 2年度事後評価]

整理番号	17				
部 局 名	政策調整部	所 属 名	人権・男女共同参画課	所 属 長	森 寄 隆 之
事務事業名	00642 男女共同参画センター管理運営事業		記 入 者	辻 友 紀 子	

## < 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	男女共同参画社会基本法、センター条例、センター管理運営規則
	方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
	政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします		
	施策	03	女性が活躍する社会の実現		
	視点	01	男女共同参画社会づくり		
重事	02	男女共同参画センターの機能充実	関連する個別計画	第3次大津市男女共同参画推進計画（おおつかがやきプランⅢ）	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	男女共同参画センター管理運営事業費	

事業の概要  
平成18年4月に明日都浜大津に施設を移転して以降、複合施設の利点を活かし、子育て総合支援センターや市民活動センター等との連携した取組を行い、男女共同参画社会の実現に向けた活動拠点として、各種講座の開催をはじめ、情報収集及び情報提供、交流の場の提供や支援を行うとともに、電話相談や女性の悩み相談などの事業を展開している。

運営方法  直営  指定管理者  民間委託  出資団体委託  補助金交付  その他 ( )

## < 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	男女共同参画社会の実現のために
対象 (何又は誰を)	市民等に対して
手段 (どのようなやり方で)	各種講座の開設、活動の場の提供、情報収集と提供、各種相談事業、男女共同参画関連団体及びグループの活動支援を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	男女が共に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画意識の高揚と醸成を図る。

## < 3. 経費 > DO

		平成30年度 決算額(千円)	平成31年度 決算額(千円)	令和 2年度 決算額(千円)	令和 3年度 予算額(千円)	令和 4年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,062	3,068	2,902	3,243	3,565	
人件費 B		13,625	13,730	12,495	12,699	12,678	
事業費合計 A+B		16,687	16,798	15,397	15,942	16,243	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	158	127	105	164	164	センター使用料・団体連絡室電気
	一般財源	16,529	16,671	15,292	15,778	16,079	
職員数(人)		3.30	3.30	2.75	2.90	2.96	
職員数の内訳	正規	0.80	0.80	0.79	0.74	0.70	
	嘱託	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.50	1.96	2.16	2.26	

## < 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
活動指標	1	講座開設数	講座	目標	12	12	10	10	10
				実績	8	10	10	-	-
	2	電話相談開設日数	日	目標	99	99	99	99	98
				実績	99	99	99	-	-
成果指標	1	講座受講者率	%	目標	80	80	80	80	0
				実績	77	83	95	-	-
	2	電話相談件数	件	目標	200	200	200	200	0
				実績	356	237	223	-	-
		電話相談実績							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や休業等によるストレスからDVリスクの高まりや非正規雇用など不安定な雇用に就いていることによる離職など平時の男女共同参画にかかる課題が浮き彫りとなっている		
これまでの見直しや改善等の経過	様々な悩みを持つ相談者に寄り添いながら、問題解決へのつなぎ役として適切な機関連携を図るなど、相談機能を果たしてきた。また、講座等の実施により男女共同参画社会実現に向けた事業を推進している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	本市が窓口となり、様々な悩みを持つ相談者が安心して相談することができる。また、困難事案の解消につながるよう関係部署と調整したり、悩み解消の糸口となる講座を開催するなど、総合的に支援することができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	専門性の高い講師を招聘し、講座を開催することで、必要な情報提供や啓発に取り組んでいる。また、感染防止のためオンライン参加枠を追加するなど参加者の利便性を高め、アンケートでは満足度が高く有効性は上がっている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	関係機関からの講師派遣制度を活用するなど、効率性の高い講座事業を目指し、企画段階から講師選考やテーマ設定などを工夫し、受講者が直接聴く機会の少ない講座等を集合形式で実施することによって効率性を上げている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	男女共同参画社会実現のための拠点施設として、取り組む講座や相談及び情報提供等の事業は、男女共同参画及び女性活躍推進のための機運の醸成と施策の目標達成に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 ( <input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他 ) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 ( ) <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	当事者の相談内容を丁寧に聞き取るとともに、関係機関と迅速に連携を図ることで、DV事案等の緊急を要する事案に適切に対応する。また、講師派遣制度の活用など、効率的に取り組むとともに、講座内容や手法を工夫することで、市民が利用しやすい男女共同参画社会の拠点施設として、より一層の充実を図る。
部局長コメント	当センターは男女共同参画の推進拠点として、多様な相談に柔軟に対応するとともに、市民ニーズに即した講座や事業に取り組んでいる。特に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、相談内容の深刻化が懸念されることから、相談窓口の一層の周知啓発に努めていくとともに、迅速かつ継続的に関係機関と連携した相談支援の実施に努める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標達成率	指標1	96.25 %	103.75 %	118.75 %
	指標2	178.00 %	118.50 %	111.50 %
成果増減率	指標1	- %	+7.79 %	+14.45 %
	指標2	- %	-33.42 %	-5.90 %
活動単位コスト	指標1	2,085 千円	1,679 千円	1,539 千円
	指標2	168 千円	169 千円	155 千円
成果単位コスト	指標1	216 千円	202 千円	162 千円
	指標2	46 千円	70 千円	69 千円
コスト増減率		- %	+22.30 %	-11.24 %